

川でよく見る水生昆虫



フタツメカワゲラ
上流から中流の流れが遅い場所に生息。単眼が2つあるのが特徴



オオヤマカワゲラ
上流部の瀬に生息。頭の模様で識別。



ハグロトンボ
比較的広い範囲に分布。岸の抽水植物帯に生息する。



コオニヤンマ
比較的広い範囲に分布。流れの遅い場所に多い。触角の形が特徴で、よく似た種でヒモ状のものはコヤマトンボ。



オジロサナエ
上流域に生息。砂地を好む。触角の形がしゃもじ型。



ヘビトンボ
上流で流れの速い瀬に生息。体側のヒモ状突起とその付け根の房状のエラが特徴。



アカマダラカゲロウ
主に中流に分布する。中央に3本の縦線があるのが特徴。尾は3本。



シロタニガワカゲロウ
上～中流に分布。岸よりの緩やかな場所に生息。身体は扁平で、尾は3本。



エルモンヒラタカゲロウ
上流部の瀬に生息。身体は扁平で、尾は2本。エラに赤い斑点あり。



チラカゲロウ
主に上流から中流に分布する。非常に俊敏に泳ぐ。尾は3本で長い毛がある。



キイロカワカゲロウ
主に中流に分布する。砂地を好む。口の大あごが特徴。



フタスジモンカゲロウ
主に上流の砂底に分布する。腹部のフサフサのエラがあり、黒い模様で判別する



コカゲロウの仲間
上流から中流に分布する。非常に俊敏に泳ぐ。尾は3本。卵形のエラがある。

川でよく見る底生動物



ウルマーシマトビケラ
上流から中流の流れが遅い場所に生息。単眼が2つあるのが特徴



コガタシマトビケラ
中流の瀬に生息。ウルマーシマトビケラに比べてやや細い。詳細は顕微鏡での観察が必要。



オオシマトビケラ
中流の瀬に生息。頭部の前面部に平らなところがある。



チャバネヒガナガカワトビケラ
上流から中流の瀬に生息。胸部キチン板は1コ。頭部が細長い。



ヒロアタマナガレトビケラ
上流部の瀬に分布する。肉食性。



グマガトビケラ
中流部の流れが緩い場所に生息。石粒で出来た筒をもつ



コカクツツビケラ
上流部の流れが緩い場所や落葉が堆積した場所に生息する。落葉を餌と巣に利用。



アオヒゲナガトビケラの1種
上流から中流の流れが遅い水草帯に生息。枝や草を使って巣をつくる



ゲンジボタル(幼虫)
上流から中流に生息。砂の中に潜っていることが多い。



カワニナ
上流から中流に生息。流れが緩い場所に生息。



サカマキガイ
中流から下流に生息。岸際の植物帯や水草の中に多い。



ミズムシ
中流から下流に生息。流れがよどんだ場所に多い。



ブユの仲間
上流の流れが速い場所に生息。流下してくる藻類などを食べる



ニンギョウトビケラ
上流から中流に生息。流れが緩い石の上に生息。藻類を食べる。



アミカの仲間
上流の流れが速い場所に生息。冬から春にかけて良く見られる。



ナミウズムシ
通称プラナリア。上流から中流に生息。大きな石の裏に多い。



イトミズの仲間
主に中流から下流に生息。有機汚濁が進む河川で多い。



シマイシビル
主に中流から下流に生息。丸く吸盤上の口器があり、背中に縦状がある。



ヒラタドロムシ
主に中流に生息。大きな石の裏に付着している。甲虫の仲間。



スジエビ
主に中流から下流に分布。水際の植物帯や水草の中に生息する。体に縦状の黒い筋がはいる。



ミナミヌマエビ
主に中流から下流に分布。水際の植物帯や水草の中に生息する。体色は環境に合わせて著しく変化する